

(報告事項)

第1249回経営委員会資料
平成27年11月24日

予算の執行状況

(平成27年10月末)



I 一般勘定の状況

1 予算との比較

10月末標準進捗率 58.3%

事業収入は、3,987億円（進捗率58.3%）で、全体として標準通りの進捗となった。

事業支出は、3,765億円（進捗率55.6%）で、全体として標準進捗率を下回る支出状況となった。

以上により、事業収支差金は222億円の黒字となった。

事業収入

- 受信料は、契約収納活動の推進により、受信契約件数が増加し、標準進捗率を上回った。
- 財務収入は、6月の関連団体からの配当金等により、標準進捗率を上回った。
- 雑収入は、前々年度以前受信料の回収額の増等により、標準進捗率を上回った。

事業支出

- 国内放送費はラグビーワールドカップや戦後70年関連番組の支出があったものの全体としては標準進捗率を下回る支出状況となった。
- 国際放送費は、ニュース・番組の充実や受信環境整備等を推進しているが、全体としては標準進捗率を下回った。
- 契約収納費は、営業活動の強化に取り組む一方で、効率的に業務を実施し、標準進捗率をやや下回った。

(事業収支)

(単位 億円)

区 分	予 算 額	10 月 末 実 績 額	予 算 残 額	進 捗 率
事 業 収 入	6,835	3,987	2,847	58.3%
受 信 料	6,608	3,866	2,741	58.5%
交 付 金 収 入 ※	39	23	16	58.3%
副 次 収 入	81	40	40	49.8%
財 務 収 入	47	33	14	70.1%
雑 収 入	32	20	11	63.1%
特 別 収 入	26	3	23	14.2%
事 業 支 出	6,773	3,765	3,007	55.6%
国 内 放 送 費	3,048	1,693	1,354	55.6%
国 際 放 送 費 ※	229	128	101	55.9%
契 約 収 納 費	585	339	245	58.1%
調 査 研 究 費	110	47	63	43.0%
給 与	1,182	663	519	56.1%
退 職 手 当 ・ 厚 生 費	648	367	280	56.7%
共 通 管 理 費 等	202	107	95	53.0%
減 価 償 却 費	709	409	300	57.7%
特 別 支 出	26	9	17	34.1%
予 備 費	30	—	30	0.0%
事 業 収 支 差 金	62	222	△ 160	—

※については、予算総則第12条を適用して、それぞれ3億円を増額している。

2 前年同月との比較

事業収入は、受信料の増収等により、前年同月と比べ53億円増の3,987億円となった。

事業支出は、給与等が減となった一方で、国内放送費や国際放送費等の増により、前年同月と比べ54億円増の3,765億円となった。

以上により、事業収支差金は、前年同月とほぼ同額の222億円となった。

事業収入

- 受信料は、受信契約件数の増加により、実績額は前年同月を上回った。
- 副次収入は、番組活用収入の減により、前年同月を下回った。
- 財務収入は、関連団体からの配当の減等により、前年同月を下回った。
- 雑収入は、前々年度以前受信料の減により、前年同月を下回った。

事業支出

- 国内放送費は、統一地方選挙の放送実施経費やラグビーワールドカップの支出等により、前年同月を上回った。
- 国際放送費は、番組の充実・強化に伴う制作費の増や受信環境整備の推進により、前年同月を上回った。
- 契約収納費は、体制見直しに伴い地域スタッフの手数料が減となった一方で、法人委託の拡大に伴う手数料の増加など営業活動の強化により、全体としては前年同月を上回った。
- 給与は、制度改革等により減となった一方で、退職手当・厚生費は、社会保険費の増等により、前年同月を上回った。

(事業収支)

(単位 億円)

区 分	前年同月末 実績額	10月末 実績額	増減額	
			増減額	増減率
事業収入	3,934	3,987	53	1.4%
受信料	3,793	3,866	73	1.9%
交付金収入	22	23	0.1	0.7%
副次収入	42	40	△ 2	△ 5.4%
財務収入	37	33	△ 4	△ 12.5%
雑収入	24	20	△ 4	△ 17.6%
特別収入	6	3	△ 2	△ 42.1%
事業支出	3,710	3,765	54	1.5%
国内放送費	1,682	1,693	10	0.6%
国際放送費	99	128	29	29.4%
契約収納費	330	339	9	2.9%
調査研究費	43	47	4	9.4%
給 与	669	663	△ 6	△ 0.9%
退職手当・厚生費	357	367	10	2.9%
共通管理費等	119	107	△ 12	△ 10.5%
減価償却費	397	409	11	2.9%
特別支出	10	9	△ 1	△ 14.8%
事業収支差金	223	222	△ 1	-

3 受信料の状況

受信料は、受信契約件数の増加により前年同月に比べ73億円増加した。

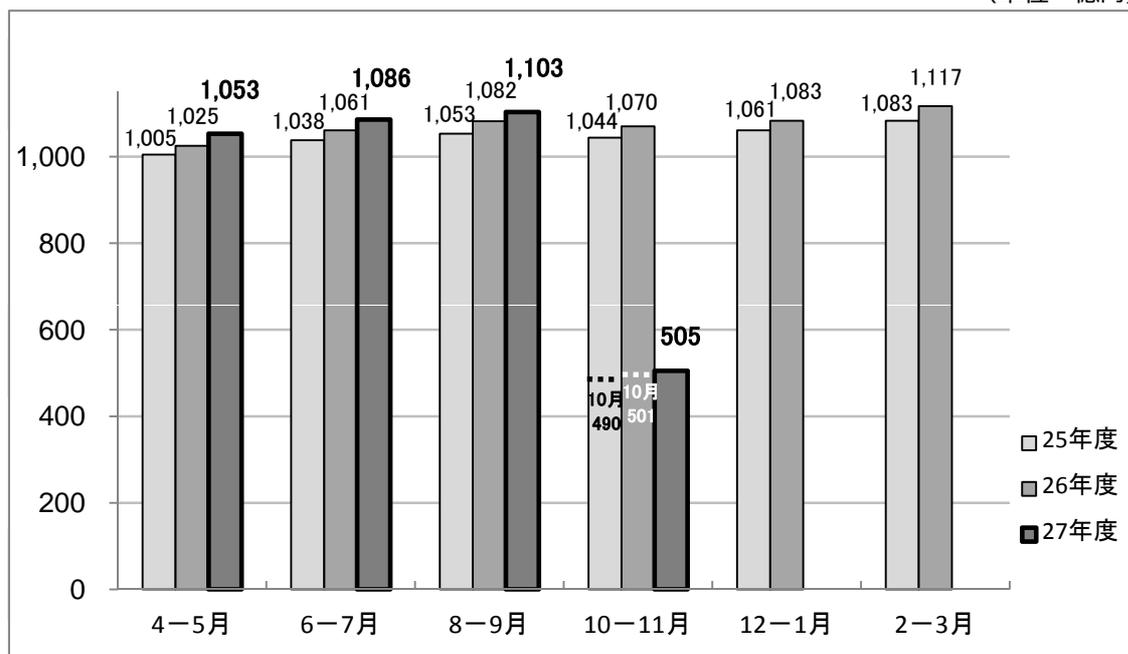
受信契約件数については、営業改革の推進により、契約総数・衛星契約数ともに年間増加目標の標準進捗率を上回った。

(単位 億円)

区 分	26年度 10月末	27年度 10月末	増減額
受 信 料	3,793	3,866	73
受信料収納額	3,671	3,748	76
回収予定額	121	118	△2

受信料収納額の期別推移

(単位 億円)



受信契約状況

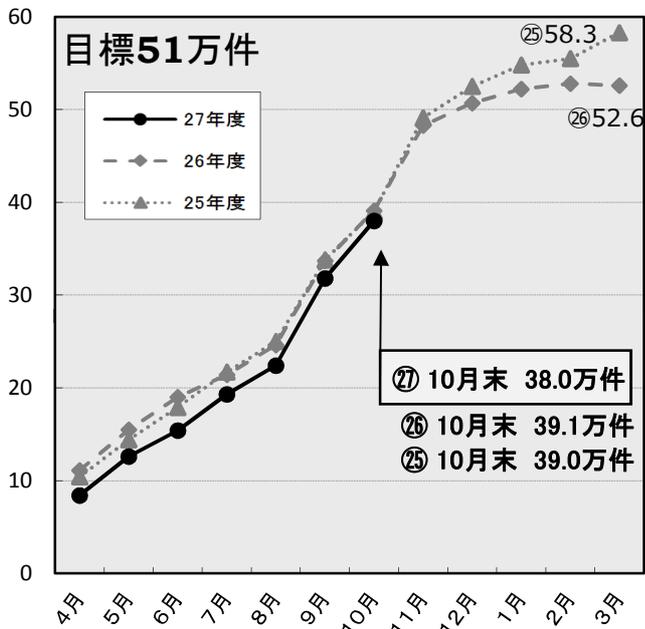
10月末標準進捗率 58.3%

(単位 万件)

区分	26年度			27年度			27年10月末 契約現在数
	年間増加目標	10月末実績	進捗率	年間増加目標	10月末実績	進捗率	
契約総数	49	39.1	79.8%	51	38.0	74.5%	3,963.8
衛星契約数	68	52.9	77.8%	60	49.1	81.8%	1,920.1
未収数 (9月末)	△ 13	△ 7.5	57.8%	△ 13	△ 3.0	23.2%	(9月末)120.1

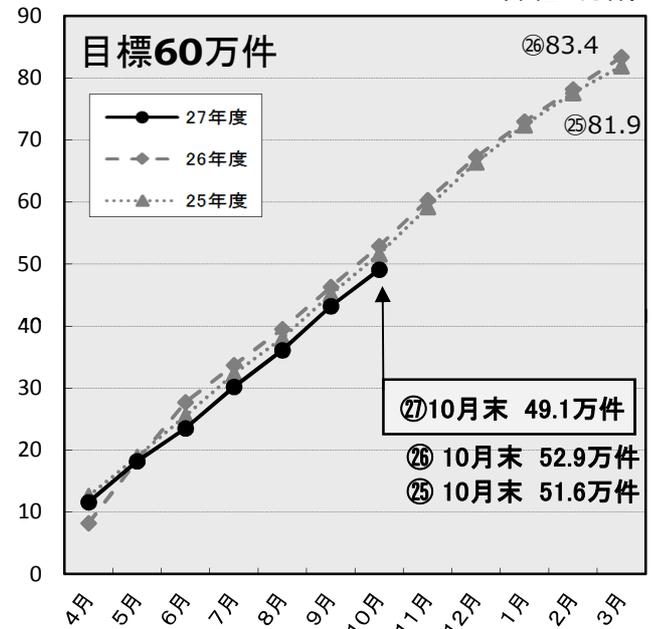
【契約総数増加】

(単位 万件)



【衛星契約数増加】

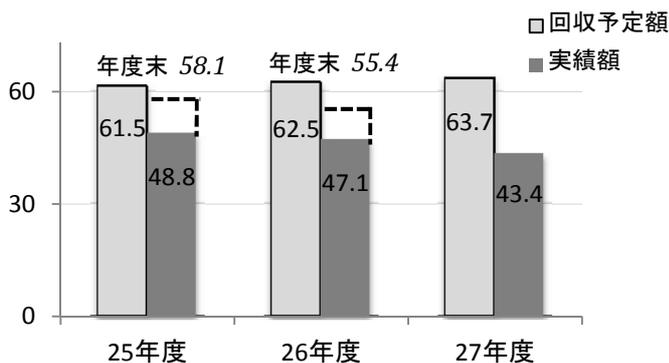
(単位 万件)



【参考】前年度・前々年度以前受信料の回収額

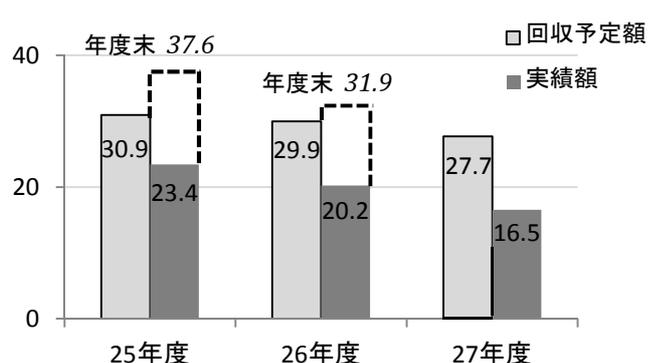
・前年度受信料回収額

(単位 億円)



・前々年度以前受信料回収額 (雑収入に計上)

(単位 億円)



Ⅱ 放送番組等有料配信業務勘定の状況

事業収支のポイント

事業収入は、前年同月を上回る11.4億円となったが、標準進捗率を下回っており、今後の進捗を注視していく。

事業支出は、10.8億円となり、効率的な業務実施により標準進捗率を下回った。
以上により、事業収支差金は0.5億円の黒字となった。

(事業収支) 10月末標準進捗率 58.3%

(単位 億円)

区 分	予 算 額	10 月 末 実 績 額	予 算 残 額	進 捗 率	(単位 億円)	
					前年同月末 実績額	増 減 額
事 業 収 入	21.7	11.4	10.2	52.8%	11.0	0.4
うち視聴料収入	20.2	10.6	9.5	52.6%	11.0	△ 0.3
事 業 支 出	21.5	10.8	10.6	50.4%	9.2	1.6
事 業 収 支 差 金	0.1	0.5	△ 0.4	-	1.7	△ 1.1

視聴料収入の単月推移

